

第1章 はじめに

「在庫 E～ね！ 2016. Summer version」をご購入頂き、誠に有難うございます。

■必要となる環境

ACCESS 2007ACCDE ファイルなので、ACCESS 2007 以上 もしくは、ACCESS 2007 以上のランタイムが必要です。基本パッケージ版のみの運用では、棚卸表の記入に EXCEL を使うので、EXCEL2000 以上が必要です。

■本ソフトに関するお問合せ先

下記メールアドレスへお送り下さい。3 営業日以内にご連絡します。

info@owlsoft.yokohama

■インストール方法

「Basepkg.zip」を任意のディレクトリへ解凍してください。その後、任意のディレクトリへ「在庫 E～ね.accde」、「照会専用在庫 E～ね.accde」、「データ用.accdb」を置いて使用してください。

【複数台による運用における各ファイルの配置】

データ用.accdb：ファイルサーバや共有サービスでファイル供しているフォルダへ配置します。

※アクセス権限としては、読み書き権限が必要です

在庫 E～ね.accdb：各種マスタ管理を行える方のパソコンへ配置します。

照会専用在庫 E～ね.accdb：在庫照会のみ行うパソコンへ配置します。

※最大で 5 台程度です。

第2章 運用

1. 準備

- 1)品目分類マスタへ品目分類情報を登録します。
- 2)仕入先マスタへ仕入先情報を登録します。
- 3)品目マスタへ品目情報を登録します。
- 4)初期在庫を設定します。

初期在庫は、在庫調整で手入力するか、Excel ファイルで在庫調整インポートします。または、実棚 Excel ファイルをインポートして在庫更新します。

2. 日々の運用

入出庫データで入荷登録・出荷登録・入庫登録・出庫登録します。
データのバックアップを行います。

3. 棚卸

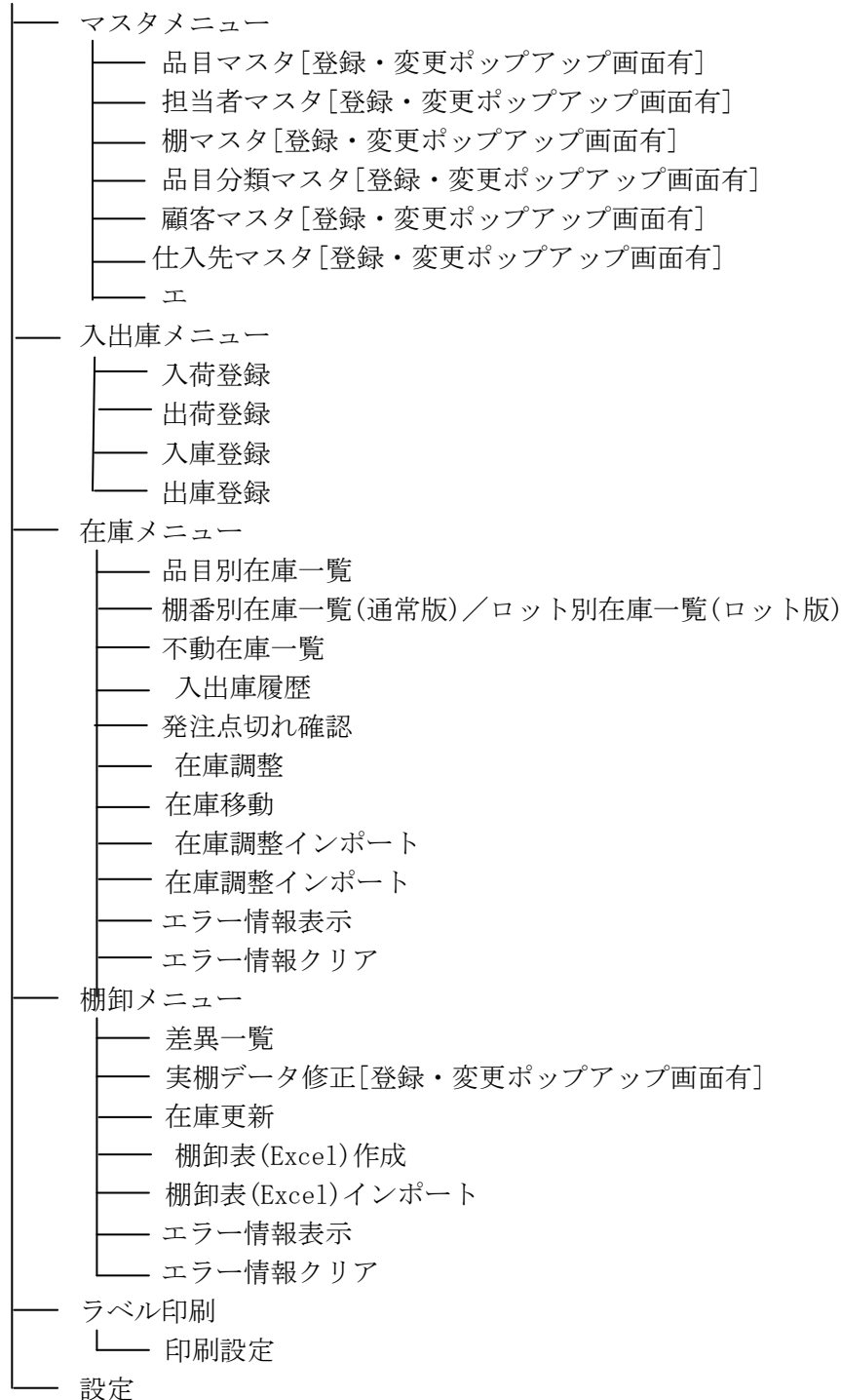
月次や期末に、棚卸表を Excel 出力して、実棚をカウント実棚数に記載後インポートして差異を確認して在庫数を更新します。

在庫更新前に、データ用.accdb ファイルをバックアップする事をお勧めします。理由は、万が一トラブルが発生した場合に、簡単に復元出来るからです。

第3章 画面及び操作

1. メニュー階層

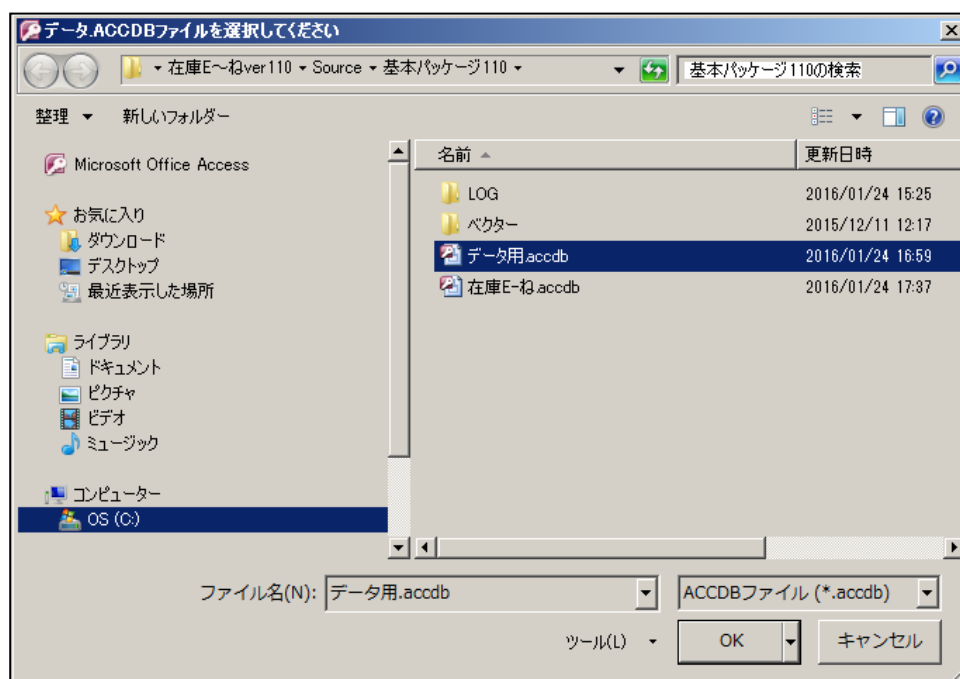
メインメニュー



ラベルは、A4 四辺余白(上下 12.99mm、左右 6mm)となります。他のサイズの場合は、別途有償にてご対応致します。

2. 初回起動時

初回起動時は、データ用. accdb ファイルの各テーブルをリンクテーブルとして設定するため、下記の様な画面が表示されますので、データ用. accdb ファイルを選択後 OK ボタンをクリックしてください。



※) データ. accdb をサーバの共有フォルダに置いていたが別サーバに移動した等で、再設定が必要な場合は、各 accde と同じ場所に下記のファイルが有りますので、ファイルを削除してください。ファイルを削除する事で再設定が可能となります。

link. dll : 在庫E～ね. accde 用のテーブルリンク完了用ファイル

slink. dll : 照会専用在庫E～ね. accde 用のテーブルリンク完了ファイル

※) データ用. accdb の各テーブルをリンクするためのセキュリティ警告メッセージが何度となく表示されるので OK ボタンをクリックして応答してください。

3. 共通事項

1) アイコンボタン



閉じるボタン

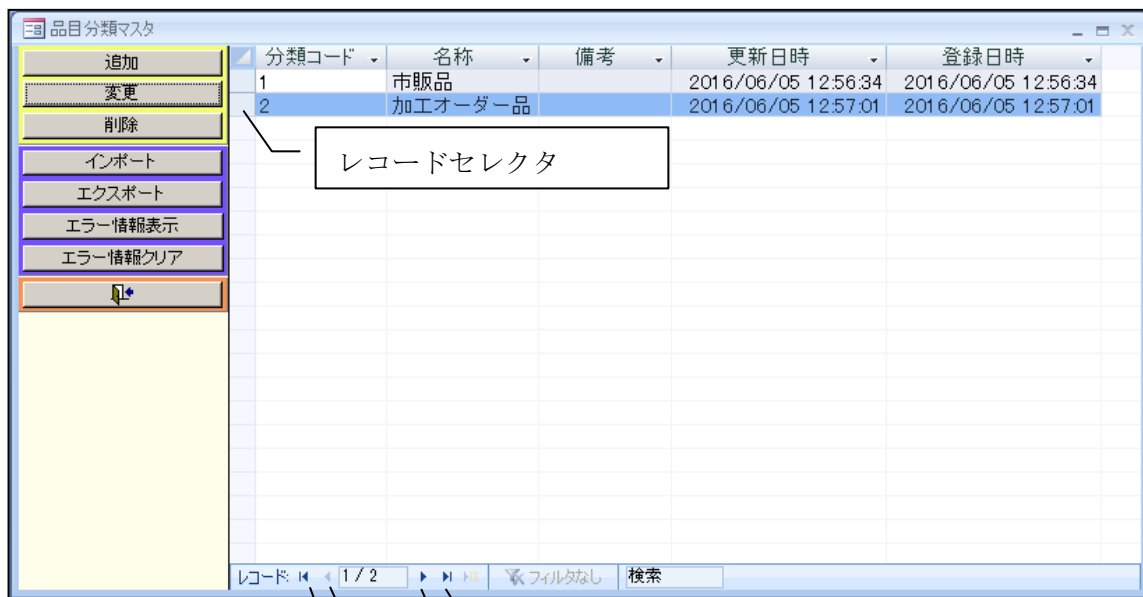


印刷プレビュー



日付のテキストボックスへカーソルを移動すると、右側にカレンダー入力アイコンボタンが表示されます、このアイコンをクリックする事で、カレンダーが表示されます。

2) レコードセクタとレコード移動



最終レコード移動

次レコード移動

前レコード移動

先頭レコード移動

3) 絞り込み

数あるデータから目的のデータを表示するには、絞り込み条件を入力後、絞り込ボタンをクリックする事で絞り込まれます。条件は、AND 条件となります。また、各絞り込み項目は「あいまい検索」に対応している項目も有ります。また、絞り込みを解除する場合は、各絞り込み項目を削除してから絞り込ボタンをクリックすると解除されます。

例) 品目マスタ画面の場合、品番は、入力された文字で始まり、それ以外は、入力された文字が含まれるといった、あいまい検索条件となります。

品番：A00

品名：左

品番が、A00 から始まり かつ 品名に左が含まれる品目データで絞り込まれます。

4) インポート用 Excel ファイル

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	品番	分類コード	型式	品名	発注点	安全在庫数	過剰数	仕入単価	売上単価	仕入先コード	備考
2	A-001	1	R100	Rブラケット	0	0	5	500	1000	0	市販品
3	A-002	1	L100x100	Lブラケット	0	0	5	500	1000	0	市販品
4											
5											

(品目マスタインポートサンプルファイルの場合)

インポート時は、必ず1行目の内容(上記例では、品番、分類コード、型式、品名、発注点、安全在庫数、過剰数、仕入単価、販売単価、仕入先コード、備考)は、各インポート用のファイルのままでご使用ください。

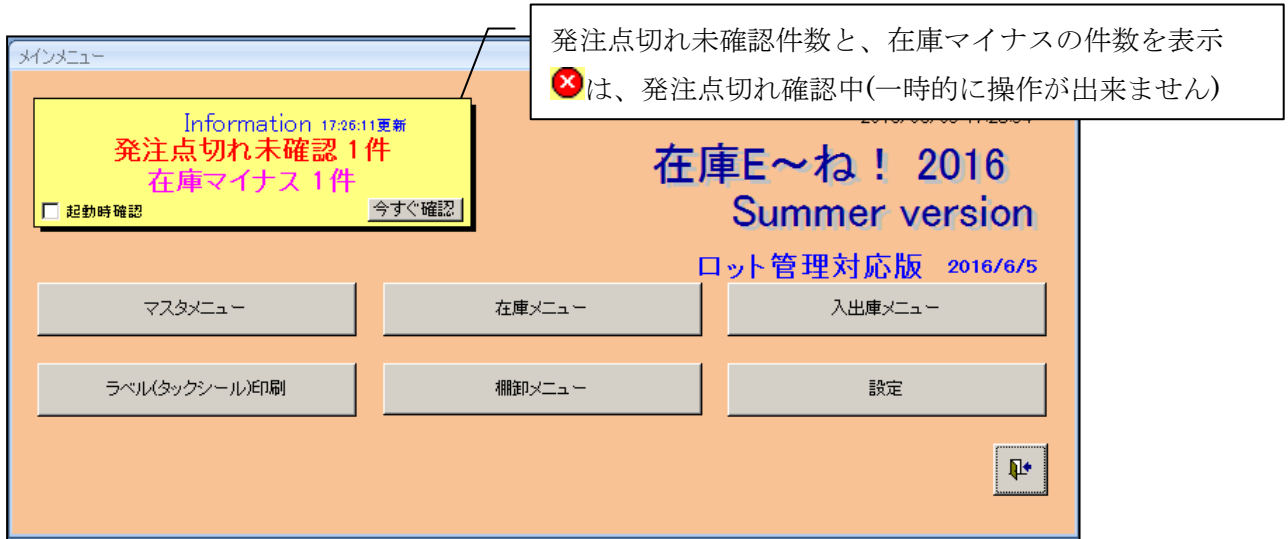
5) エラー情報

インポートの際にエラー等が発生した場合、下記の様な印刷プレビュー画面を表示させる事が出来ますので、必要に応じて印刷してエラーを処理してください。



4. 各画面

1) メインメニュー



※画面は、ロット管理版です

起動時確認：在庫 E～ね！起動直後に発注点切れ未確認・在庫マイナス確認を行う場合は、チェックを入れます。

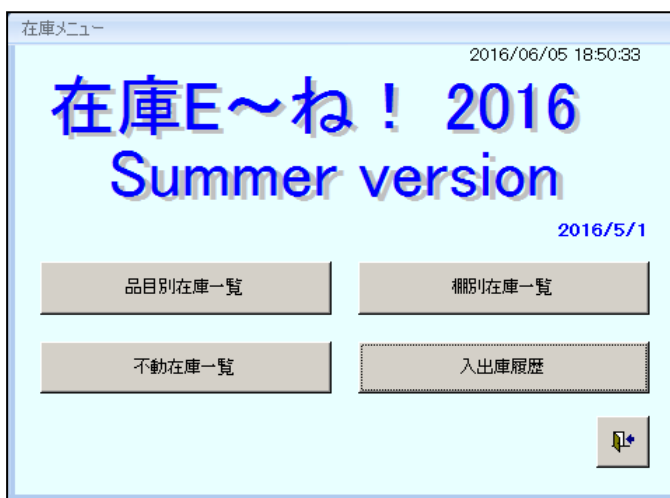
今すぐ確認：直ちに発注点切れ未確認・在庫マイナス確認を行います。

メインメニューが表示されている間は、表示から 2 分後及び、5 分間隔で自動的に発注点切れ未確認・在庫マイナス確認を行います。

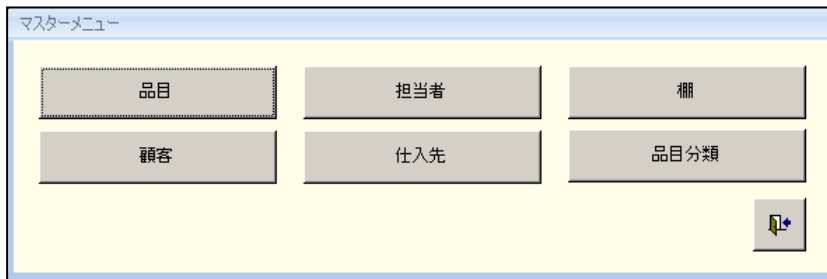
各画面系ボタン：表記されている画面を表示します。

閉じるボタン：終了します。

他の画面では、画面を閉じて元の画面に戻ります。以下の説明では省略します。

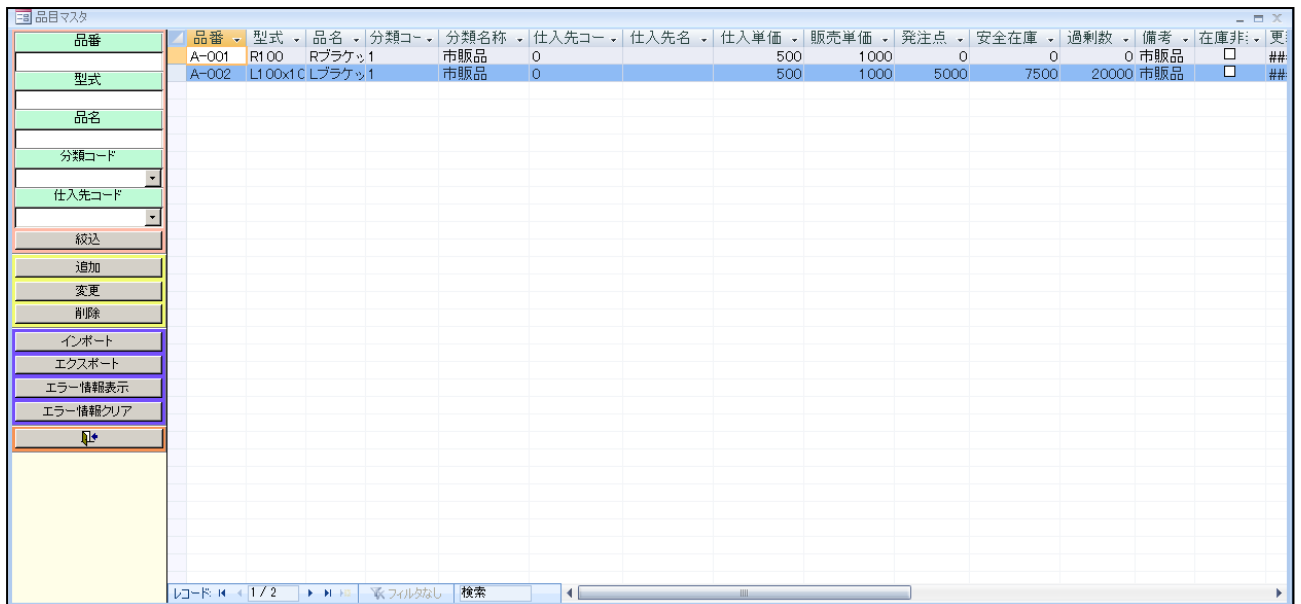


2) マスタメニュー



ボタンの各マスタ管理が行えます。マスタは、Excel ファイルへエクスポート／インポートが行えます。

3) 品目マスタ



絞込 品番：入力された文字で始まる

その他：入力された文字が含まれる

分類コードと仕入先コードは、完全一致

追加ボタン：入力用画面を開きます。

変更ボタン：選択されている品番の変更画面を開きます。

削除；選択されている品番の行を削除します。

※関連するデータで使用中の場合は、削除する事は出来ません。

絞込や各ボタンは、以降の画面でも共通なので説明を省略します。

品目マスタ追加

在庫非表示 ☐

品番

型式

品名

分類 0 未設定

仕入先 0

仕入単価 0

販売単価 0

発注点 0

安全在庫数 0

過剰数 0

備考

追加

在庫非表示チェックは、チェックオンで品目別在庫一覧、棚別在庫一覧、ロット別在庫一覧から無条件で除外されます。

品番：制約は有りませんが、バーコードデータとして扱える文字種をお勧めします。

品名、分類：制約無し

仕入単価、販売単価：ゼロ円以下はエラーです

発注点：ゼロ以上 ゼロの場合は、発注点管理を行いません

安全在庫数：ゼロ以上 ゼロの場合は、安全在庫管理を行いません

過剰数：ゼロ以上 ゼロの場合は、過剰在庫管理を行いません

品番、品名、分類、仕入先は、必須入力です。

Excel(2007 以降の XLSX ファイルで、エクスポート／インポート可能です。

※「,」カンマ文字は、ハンディーターミナル内では全角で扱われます。

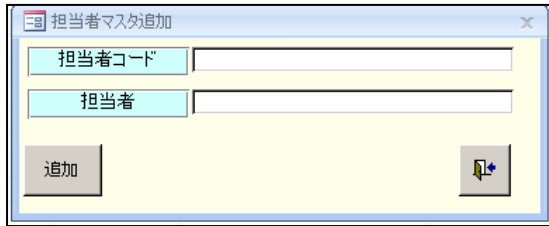
4) 担当者マスタ

担当者マスタ

追加 変更 削除 インポート エクスポート エラー情報表示 エラー情報クリア

担当者コード	担当者名	更新日時	登録日時
1	山田太郎	2016/06/05 17:03:10	2016/06/05 17:03:10
2	田中次郎	2016/06/05 17:03:25	2016/06/05 17:03:25

レコード: 1 / 2 フィルタなし 検索



担当者マスタ追加画面のスクリーンショット。担当者コードと担当者という2つの入力フィールドがあり、それぞれに青い背景のラベルが付いています。下部には「追加」というボタンと、右側に矢印とプラスのアイコンがあるボタンがあります。

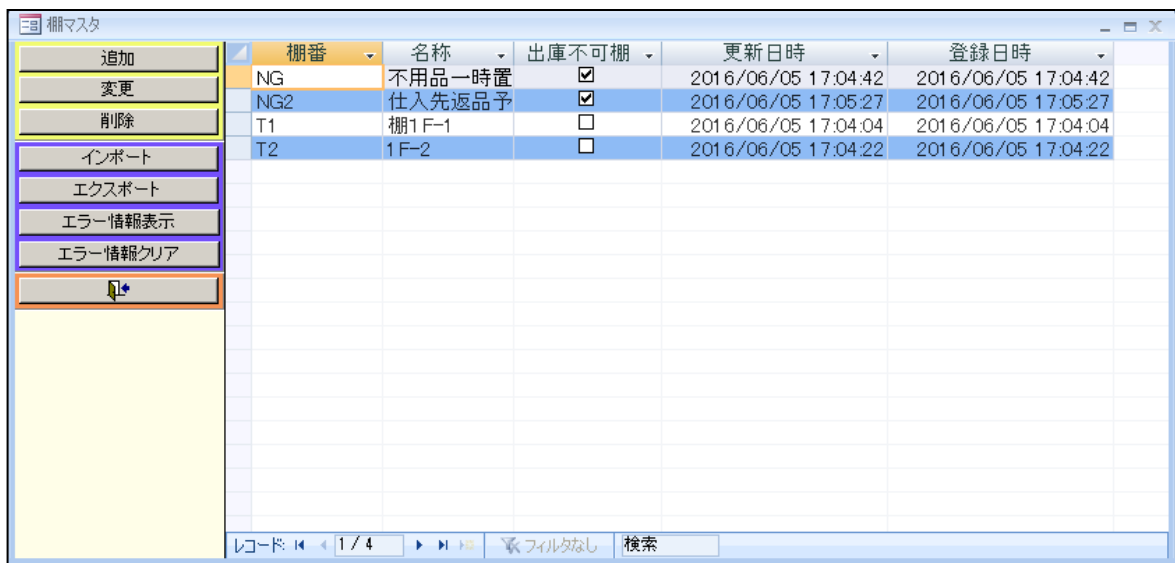
担当者コード：制約は有りませんが、バーコードデータとして扱える文字種をお勧めします。

担当者：制約無し

担当者コード、担当者は、必須入力です。

※「,」カンマ文字は、ハンディーターミナル内では全角で扱われます。

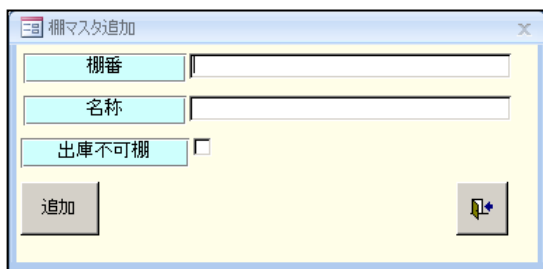
5) 棚マスタ



棚マスタ画面のスクリーンショット。左側には「追加」「変更」「削除」「インポート」「エクスポート」「エラー情報表示」「エラー情報クリア」などのボタンがあります。中央には棚番、名称、出庫不可棚、更新日時、登録日時の列があるテーブルが表示されています。

棚番	名称	出庫不可棚	更新日時	登録日時
NG	不用品一時置	<input checked="" type="checkbox"/>	2016/06/05 17:04:42	2016/06/05 17:04:42
NG2	仕入先返品予	<input checked="" type="checkbox"/>	2016/06/05 17:05:27	2016/06/05 17:05:27
T1	棚1F-1	<input type="checkbox"/>	2016/06/05 17:04:04	2016/06/05 17:04:04
T2	1F-2	<input type="checkbox"/>	2016/06/05 17:04:22	2016/06/05 17:04:22

下部には「レコード 1 / 4」と「フィルタなし 検索」のボタンがあります。



棚マスタ追加画面のスクリーンショット。棚番、名称、出庫不可棚という3つの入力フィールドがあり、それぞれに青い背景のラベルが付いています。下部には「追加」というボタンと、右側に矢印とプラスのアイコンがあるボタンがあります。

棚番：制約は有りませんが、バーコードデータとして扱える文字種をお勧めします。

名称：制約無し

出庫不可品棚：チェックなしで通常の在庫カウント、チェック有り在庫カウントを除外。

棚番、名称は、必須入力です。

※「,」カンマ文字は、ハンディーターミナル内では全角で扱われます。

6) 顧客マスタ

顧客マスタ

顧客コード	顧客名	顧客名(カナ)	郵便番号	住所	建物	TEL	FAX	E-mail	備考	更新日時	登録日時
CUST11	山本機械	ヤマトモキカイ	123-4567	神奈川県		0123-4 0123-4		yamato@a	時間厳	2016/06/05 17:09:20	2016/06/05 17:09:20

顧客名

TEL

FAX

E-mail

絞込

追加

変更

削除

インポート

エクスポート

エラー情報表示

エラー情報クリア

レコード: 1 / 1

フィルタなし 検索

顧客マスタ追加

顧客コード

顧客名

顧客名(カナ)

郵便番号

住所

建物

TEL

Fax

E-mail

備考

追加

顧客コード：制約は有りませんが、バーコードデータとして扱える文字種をお勧めします。

その他：制約無し

顧客コード、顧客名は、必須入力です。

※「,」カンマ文字は、ハンディーターミナル内では全角で扱われます。

7) 仕入先マスタ

仕入先コード	仕入先名	郵便番号	住所	建物	TEL	FAX	E-mail	備考	更新日時	登録日時
1	サトウマテリア								2016/06/05 17:10:45	2016/06/05 17:10:45

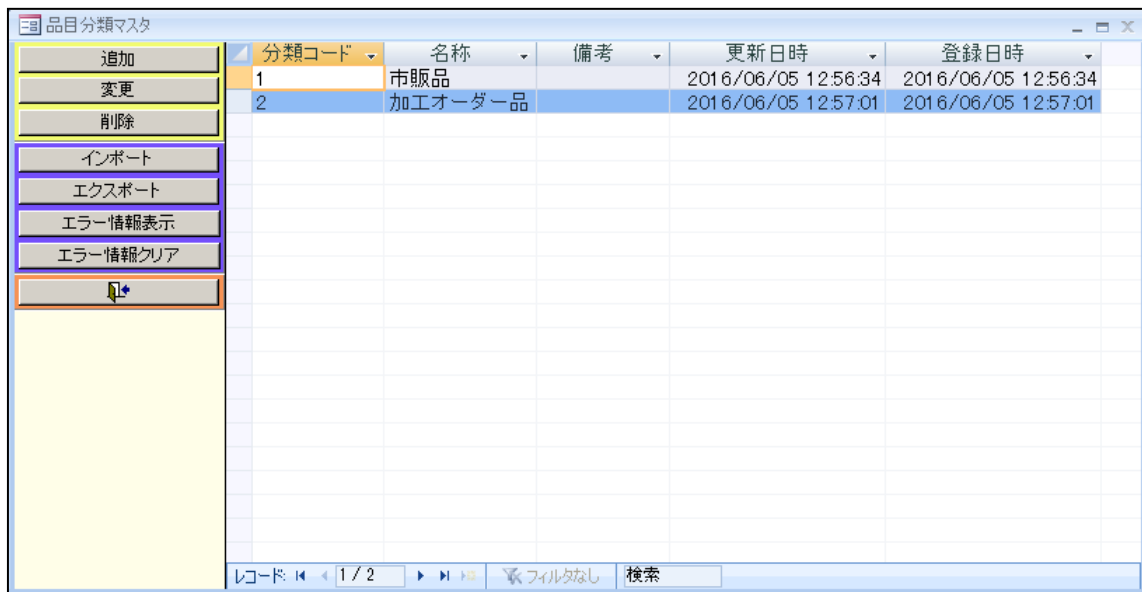
仕入先コード：制約は有りませんが、バーコードデータとして扱える文字種をお勧めします。

その他：制約無し

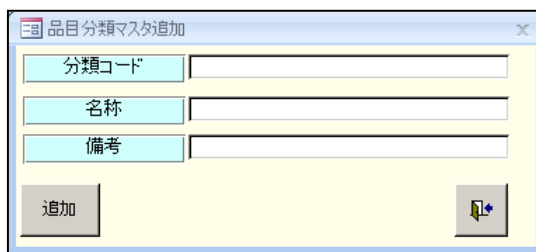
仕入先コード、仕入先名は、必須入力です。

※「,」カンマ文字は、ハンディーターミナル内では全角で扱われます。

8) 品目分類マスタ



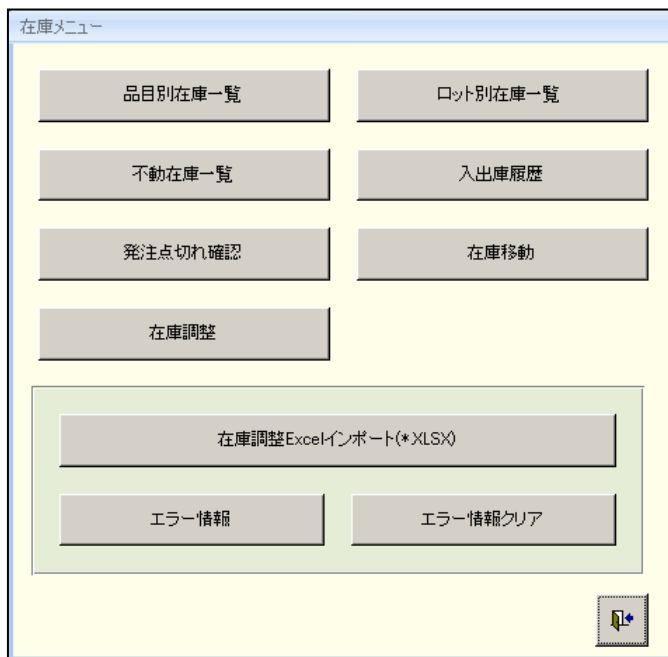
分類コード	名称	備考	更新日時	登録日時
1	市販品		2016/06/05 12:56:34	2016/06/05 12:56:34
2	加工オーダー品		2016/06/05 12:57:01	2016/06/05 12:57:01



各項目：制約無し

分類コード、名称は、必須入力です。

9) 在庫メニュー



画面表示系のボタン：各画面を表示します。なお、ロット管理版は、ロット別在庫一覧となり、通常版では棚別在庫一覧となります。

在庫調整インポートボタン：在庫調整値(プラス、マイナスどちらも可能)で大量のデータを Excel ファイルでインポートします。

廃棄品等を一括で引き落とす場合、Excel データをインポートして一気に在庫調整を行う等の用途として、在庫調整インポート機能が有ります。また、初回導入時の在庫をセットする場合にも在庫調整インポートで行います。

1 0) 品目別在庫一覧

品番	型式	品名	分類コード	分類名	最終在庫	最終出庫	最終入荷	最終出荷	発注点	安全在庫	過剰	単価	販売単価	在庫数	除外在庫	実質在庫	在庫金額
A-001	R100	Rフラグ 1		市販品			2016/06/05			0	0	0	500	1000	1000	0	500000
A-002	L100x100	Lフラグ 1		市販品				2016/06/10	7500	5000	20000	500	1000	-50	0	-50	-25000
A-003	I150	Iフラグ 1		市販品					7500	5000	20000	400	800	0	0	0	0
AS001		ASSY1	ASSY	社内組み立	2016/05/31	2016/06/01			0	100	0	0	0	4	0	4	0
AS002		ASSY2	ASSY	社内組み立					0	0	0	0	0	0	0	0	0

マイナス在庫は、在庫数が赤字となります。

実質在庫は、在庫数(帳簿在庫) - 出庫不可棚在庫となっています。また、発注点切れ未確認は赤字、確認済みは緑字となっています。

ラジオボタン(フィルタ)は、即時反映されます。

1 1) 在庫明細

品番	Lot	棚番	棚名	数量
AS001	20160531-01	T2	1F-2	4

品目別一覧の選択行品番の在庫明細を表示します。

1 2) 入出庫履歴

登録日時	処理日	品番	棚番	処理区分	担当者コード	数量	顧客コード	仕入先コード	備考
2016/06/06 10:19:03	2016/06/01	AS001	T2	出庫	0	1 0		0	
2016/06/06 10:18:24	2016/05/31	AS001	T2	入庫	0	5 0		0	

呼び出し元画面により下記の内容になります。

品目別在庫一覧：選択されている行の品番の履歴

ロット別在庫一覧：選択されている行の品番・棚番・ロット No の履歴

棚別在庫一覧：選択されている行の品番・棚番の履歴

1 3) ロット別在庫一覧

ロット番号	ロット	品番	型式	品名	分類コード	分類名	棚番	棚名	数量
	20160530-01	AS001		ASSY1	ASSY	社内組み立て品	T1	棚1F-1	1
	20160531-01	AS001		ASSY1	ASSY	社内組み立て品	T2	1F-2	4
	ABB	A-001	R100	Rブラケット	1	市販品	T2	1F-2	1000
	ABC	A-002	L100x100	Lブラケット	1	市販品	T2	1F-2	-50

数量がマイナスの場合、赤字となります。

[illegible]

不動産在庫条件入力

180 日以内に在庫/出荷されていないデータを表示します。

OK キャンセル

[illegible]

1 7) 入出庫履歴

品番	登録日時	処理日	品番	型式	品名	分類コード	名称	ロット	棚番	棚名	処理区分	担当	担当	顧客	顧客	仕入	仕入	数量	備考
	2016/06/06 14:55:07	2016/06/01	A-001	R100	Rブラケット		市販品 222	0	未設定	入庫	0	未設定	0	0	0	0	0	11	

既定値の処理日(自)は、現在よりも n カ月前(設定画面で指定)となります。
通常版の場合は、ロット番号の項目は有りません。

1 8) 発注点切れ確認

確認	品番	型式	品名	確認日
<input type="checkbox"/>	A-002	L100x100	Lブラケット	

1 9) 在庫移動

在庫移動

担当者: 未設定

備考:

ロット番号:

処理日: 未入力時は、パソコンの日付となります

品番:

移動元:

移動先:

数量:

登録

通常版の場合は、ロット番号の項目は有りません。

2 0) 在庫調整

通常版の場合は、ロット番号の項目は有りません。

2 1) 在庫調整インポートファイル

在庫調整インポートボタン：在庫調整値(プラス、マイナスどちらも可能)で大量のデータを Excel ファイルでインポートします。

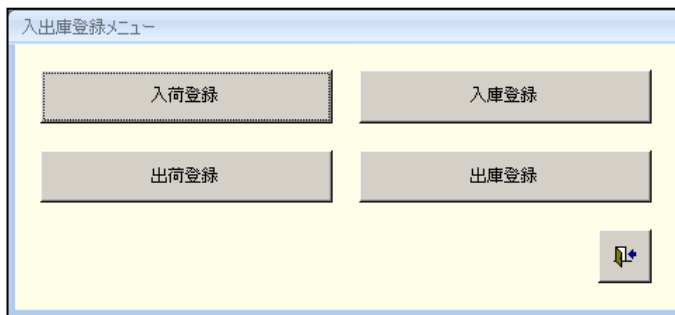
廃棄品等を一括で引き落とす場合、Excel データをインポートして一気に在庫調整を行う等の用途として、在庫調整インポート機能が有ります。また、初回導入時の在庫をセットする場合にも在庫調整インポートで行います。

エラー情報：インポート時のエラー情報を印刷プレビュー表示します。

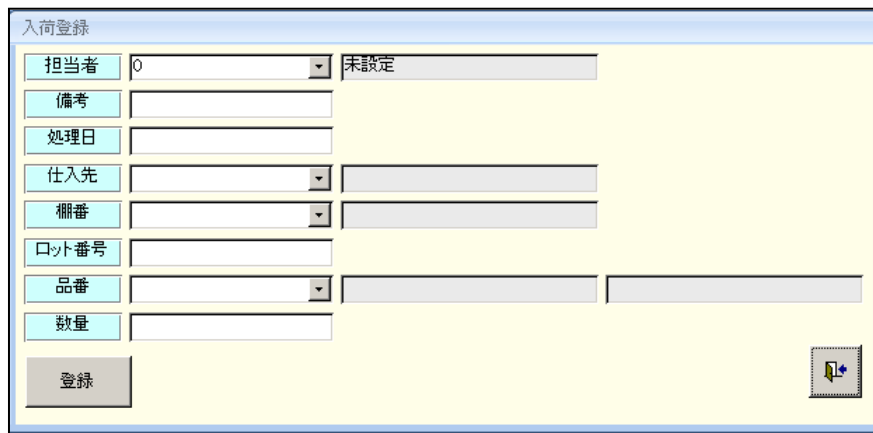
	A	B	C
1	棚番	品番	数量
2	NG	A-001	1000
3	NG	A-001	2000
4	A	A-002	-5000
5	B	A-002	5000
6			
7			

	A	B	C	D
1	棚番	ロット番号	品番	数量
2	NG	20160105	A-001	1000
3	NG	20160106	A-001	2000
4	A	20160106	A-002	-5000
5	B	20160106	A-002	5000
6				
7				

2 2) 入出庫メニュー



2 3) 入荷登録



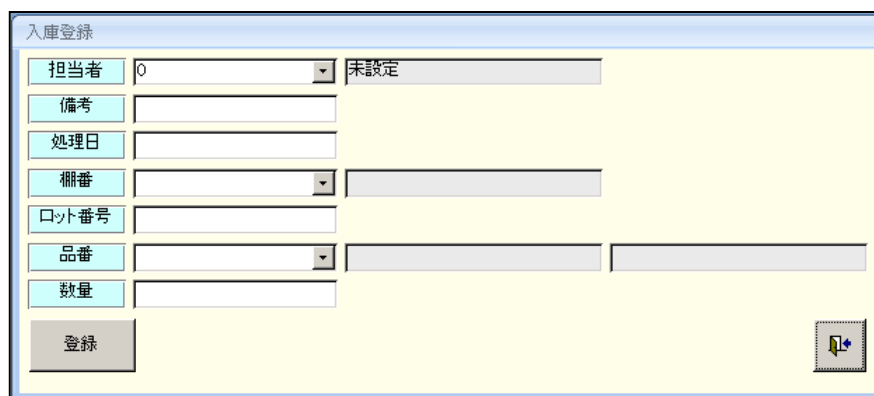
備考以外は必須入力です。

通常版は、ロット番号項目が有りません、

入荷登録(数量がプラスの場合)で、発注点切れデータをクリアします。

マイナスは、返品処理で使います。

2 4) 入庫登録



備考以外は必須入力です。

通常版は、ロット番号項目が有りません、

マイナスは、入庫取消処理で使います。

2 5) 出荷登録

出荷登録	
担当者	0 <input type="text"/> 未設定
備考	<input type="text"/>
処理日	<input type="text"/>
出荷先	<input type="text"/> <input type="text"/>
棚番	<input type="text"/> <input type="text"/>
ロット番号	<input type="text"/>
品番	<input type="text"/> <input type="text"/>
数量	<input type="text"/>
<input type="button" value="登録"/>	

備考以外は必須入力です。

通常版は、ロット番号項目が有りません、
マイナスは、返品処理で使います。

2 6) 出庫登録

出庫登録	
担当者	0 <input type="text"/> 未設定
備考	<input type="text"/>
処理日	<input type="text"/>
棚番	<input type="text"/> <input type="text"/>
ロット番号	<input type="text"/>
品番	<input type="text"/> <input type="text"/>
数量	<input type="text"/>
<input type="button" value="登録"/>	

備考以外は必須入力です。

通常版は、ロット番号項目が有りません、
マイナスは、戻し入れ処理で使います。

2.7) ラベル印刷選択

印刷	品番	型式	品名	分類コード	分類名
<input type="checkbox"/>	A-001	R100	Rブラケット	1	市販品
<input type="checkbox"/>	A-002	L100x100	Lブラケット	1	市販品
<input type="checkbox"/>	A-003	I150	Iブラケット	1	市販品
<input type="checkbox"/>	AS001		ASSY1	ASSY	社内組み立て
<input type="checkbox"/>	AS002		ASSY2	ASSY	社内組み立て

印刷対象の品番にチェックを入れます。

表示品目のみリセット：絞込前にチェックを入れた品番はリセットされません。

オールリセット：全件リセットします。

印刷位置指定：任意の位置から印刷を行えます。

部数：各品番を同一部数で印刷します。

2.8) 棚卸メニュー

前回棚卸実施日翌日から棚卸日迄の入出庫登録時の処理日が対象です。

棚卸対象期間：直接日付を入力するか、カレンダーから入力できます。

※ 対象期間が入力されると、差異一覧、在庫更新、棚卸表(Excel)作成ボタンが有効となります。

通常版(品番・棚番の2つがキー)/ロット管理版(品番・ロット番号・棚番の3つがキー)で、同一のキー値を持つデータが重複している場合、エラーメッセージを表示して在庫更新が出来ない様になっています。

実棚数を記入するための Excel ファイルを任意の場所へ出力します。

インポートする際に実棚数が未入力のデータは、インポートされません。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	棚番	棚名	ロット番号	品番	品名	型式	分類	帳簿在庫数	実棚数
2	A	1F	20151210	A-001	ブラケットL	S-R'50		10	9
3	B	2F	20151210	A-001	ブラケットL	S-R'50		20	8
4	C	3F	20151210	A-001	ブラケットL	S-R'50		30	
5									
6									
7									

2.9) 差異一覧

帳簿在庫と実棚に差異が発生している物が表示されます。

棚番	棚名	ロット番号	品番	型式	品名	帳簿在庫	実棚	差異
0	未設定	AAAA	A-001	R100	Rブラケット	-1	0	1
NG	不良品一時置	BBBB	A-001	R100	Rブラケット	-1	0	1
T1	棚1F-1	20160520	A-001	R100	Rブラケット	1000	0	-1000
T1	棚1F-1	20160525-10	A-002	L100x100	Lブラケット	-1000	0	1000

3.0) 実棚

品番	登録日時	棚番	棚名	品番	型式	品名	ロット	数量	担当者
	2016/06/08 0:00:52	NG	不良品一時置	AS001		ASSY1	20160501-01	3	未設定


通常版(品番・棚番の2つがキー)/ロット管理版(品番・ロット番号・棚番の3つがキー)で、同一のキー値を持つデータが重複している場合、フォームを閉じる時にエラーメッセージが表示されますので、必ず1つにして下さい。

棚番	<input type="text"/>	<input type="text"/>
ロット番号	<input type="text"/>	
品番	<input type="text"/>	<input type="text"/>
数量	<input type="text"/>	
担当者	<input type="text"/>	未設定
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="検索"/>		

通常版は、ロット番号項目が有りません、

3 1) 設定

設定

保持期間 入在庫履歴データ 400 日 <input type="button" value="更新"/>	初期化 <input type="button" value="データのみ"/> <input type="button" value="マスタ・データ両方"/>
表示期間 入在庫履歴 1 ヶ月 <input type="button" value="更新"/>	

第4章 その他運用に関して

1) バックアップ

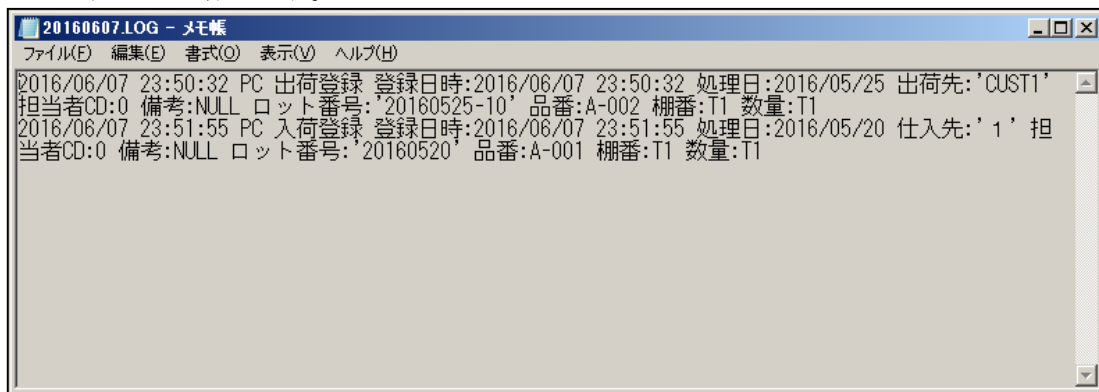
在庫 E～ね！を終了します。

データ用.accdb ファイルをバックアップします。

2) ログ

日々、バックアップを行っていてもデータ登録中に突然の停電等でデータ用.accdb ファイルが壊れる事も有ります。その場合は、前日にバックアップを取ったデータ用.accdb ファイルに戻して、当日分のログを参照して手入力等でデータを復旧してください。

ログは、在庫 E～ね.accde ファイルが置かれている場所の LOG フォルダ内に日付毎のログファイルが有ります。



3) 棚卸

基本パッケージのみの場合は、下記の手順で実施します。

手順 1. 棚卸メニューで棚卸期間を指定します。

手順 2. 棚卸表 Excel エクスポート

手順 3. 棚卸表の Excel へ実棚数入力

手順 4. インポート

手順 5. 棚卸差異確認

手順 6. データ用.accdb バックアップ

手順 7. 在庫更新

※棚卸データを入出庫データ(繰越)をエクスポートするのであれば、エクスポートします。

注意点

棚卸は当日、入庫及び出庫等を止めて実棚カウントして在庫を更新しますが休日等の関係で前倒しで行う事も有ります。その場合は、処理日には十分注意して下さい。在庫更新してしまうと、棚卸実施日以前の日付で入出庫登録が行えなくなります。

例)

3月29日の段階で、3月31日として棚卸

本日入庫・出庫品を日時指定で4月1日として扱う

4) 棚卸を在庫 E～ね！で行わない場合

販売管理の基幹業務システムで棚卸をして、在庫更新データを在庫 E～ね！に入れる場合は下記の手順で行ってください。

手順 1. 設定画面で、データのための初期化を実施してください。

手順 2. 在庫調整で基幹系の在庫データを取り込みます。